

# 生活保護受給者 人権侵害グッズ こんなに

ポロシャツ・フリース・Tシャツ・  
携帯ストラップ・マグカップ・マウスパッド

## 神奈川 小田原市が公表

生活保護担当の市職員が、「保護なめんな」などとプリントしたジャンパーを着用して受

給者宅の訪問にあたっていた神奈川県小田原市は9日、記者会見し、同担当の生活支援課職



小田原市が会見で示した、生活保護・悪撲滅・チームを意味する「SHAT」などの文字がプリントされたポロシャツやマウスパッド、マグカップなどのグッズ。9日、神奈川県小田原市

員が夏季用として2008年以降「生活保護・悪撲滅・チーム」を意味する「SHAT」の文字が入ったポロシャツを作成し、庁内での業務や受給者への訪問時に着用していたことを明らかにしました。

また同じ文字が入ったフリースや半袖シャツも作成され庁舎内で一部職員が着用。ほかにTシャツ、携帯ストラップ、マグカップ、マウスパッドなどがベテラン職員などへの「記念品」として作成されていたことを示しました。

不正受給撲滅を意味する「SHAT」の文字が、グッズに共通して使用されていたことについて市側は「SHAT」が生活支援課

のシンボルマーク、ロゴマークのようになっている方を手厚く保護するのが大原則だが、職員の連帯感やモチベーションを上げるためには、こういった言葉がメッセージとして一

番伝わりやすかったとのべました。

マウスパッドや、マグカップにはジャンパー同様、「不正受給はクズ」と書かれた英文もプリントされていました。

同市は会見で、学識経験者、元ケースワーカー、元生活保護利用者らの参加による「生活保護行政のあり方検討会」を今月下旬以降開催し、年度末までに生活保護行政の検証および改善方策の取りまとめを行うとしました。